

広島平和学習講演会

戦争はしてはいけないと改めて感じました。私は、姫路は空
襲を受けたのはしていましたが、神戸にも空襲があったこと
を初めて知りました。戦争というこの文字はどこか遠い国の話
だと思っていたけど、実際日本にも深くかかっていることが
わかりました。三好さんのおかげで今もなお戦争している
国は他人事ではなく自分の事だと思っ考えることへの大切がわかりました。
黒田さんのお話で祖父・祖母がいった「死ぬときは死めんじゃ
はああんたらにけん、この一言に感動しました。私は戦争は誰もが
行きたいと思ってたときめつけていたけど、実際はあきらめの気持ち、死に
たい気持ちでいる人がいたことに気づきました。また黒田さんが
いった「中立主義の平和国をめざす」という一言を忘れ
ず、私たちが語りつぐ大切さを改めて感じ、長期的視点と
歴史的想像力を大切にする平和を求めています。

PEACE



1 年 組 番 名前

広島平和学習講演会

<黒田コナ>

・当時の姫路の様子をみて、とても辛く、苦しいものであったと改めて感じました。私や父、おじいちゃんも戦争
の日を経験しているけれど、本当に辛いものだから、話すことがなかったけれど、黒田コナですか、本当に辛いものだったから、
？、後世に伝える必要はないといけなく、知らないといけなく、思いました。特に、「赤紙が」といって、「アキラが」行。
はまった、というのを聞いて、いつ、それが戦争にいて、おかしな感じがしたと思ひ、本当に戦争は恐ろしく
怖いものだったと思ひました。この貴重な体験を、無駄にせず、次につなげてほしいです。次は私達が
発信する方になって、黒田さんの平和の思いを届けていけるようになりたいです。

<三好コナ>

・戦争というものが、悪いものではあるというのが、よくわかりました。戦争がなければ、民間人も、生き残った
人々を地上戦がなくなりました。人々を救うため、本当に戦争は、国どうしの戦いではなく、人どうしの
殺し合いだと強く感じました。日本人の命を大切にしていけなく、強く感じました。
私達は平和な世界に生きていくけれど、実際には、どこの国でも、戦争が起きているという
現実もあらためて、知りました。そして、この平和を守りて、いけるのは、私たちなんだと思ひました。
この現実をふまえて、平和とは何かと考えていけなく、思ひました。
このことと1月の広島につなげてほしいです。

PEACE



1 年 組 番 名前

広島平和学習講演会

三好さん

姫路城に黒い網をかぶせていたことを知って、姫路城を守るためにという市民の気持ちや伝わってきたように感じました。なので城が残ってくれていて、当時の市民もうれしかっただろうし、私もとてもうれしい気持ちになりました。姫路空襲だけでなく、神戸や明石にも大きな被害をもたらしていることが分かって本当に怖いと思いました。今も世界中に核兵器があることを知ってびっくりしました。明日落とされるとなると怖いし、二度と核兵器を使っちゃいけないと思いました。私も次世代にかなげれる人になりたいです。

黒田さん

当時の戦争体験をよく知りました。爆弾や火事にもなっていたことが分かって、爆弾は本当に怖いと思いました。原子弾を初めて、実際に見れました。想像していた丸い爆弾ではなく、細長いものが40本くらい、しなびて山のように落ちてくることは、恐怖だと思い、逃げている途中になくなった人も多かったです。本当に悲しくなりました。改めて戦争をしてはいけないと強く思ったし、この話をいろいろな人にしようと思いました。

PEACE



／ 年 組 番 名前